

TASKalfa 4811w / 4812w / 4813w



操作説明

2

トラブルシューティング

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。 また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。 安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機のご利用にあたっ て』「安全上のご注意」をお読みください。



1	はじめに	 ●操作部各部の名称 ●本体各部の名称 ●マニュアルの使いかた、機能の詳細について 	3 4 6
2	操作説明	●出力紙の排紙先を指定する ●原稿のセット ●等倍サイズでコピーする ●拡大・縮小する ●不定形サイズコピー	8 10 12 14 16
3	トラブルシューティング	●用紙を補給する ●用紙を交換する ●トナーを交換する ●トラブルが発生したら	18 18 18 18

はじめに

操作部各部の名称



てきたときに点滅します。

1

はじめに

本体各部の名称



1



はじめに

マニュアルの使いかた、機能の詳細について

使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル(PDF 形式)が用意されています。 電子マニュアルは付属の CD-ROM に収録されています。以下の手順に従って、ご 利用ください。

🔂 重要

• PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。



2 [MANUAL_PDF] フォルダをクリックし、見たい使用説明書を 選択します。

マニュアル一覧 USER TOOL:初期設定編 COPY : コピー/ドキュメントボックス機能編 SCANNER :スキャナー機能編 PRINTER :プリンター機能編 NFTWORK :ネットワークガイド RPGL :RP-GL / 2 編 RTIFF :RTIFF 編 PS3 : PostScript3 編

分冊名	紙マニュアル	電子マニュアル (PDF 形式)
本機のご利用にあたって	0	—
初期設定編	—	0
こんなときには	0	—
セキュリティ編	0	—
コピー機能 / ドキュメント ボックス機能編	_	0
プリンター機能編	_	0
スキャナー機能編	_	0
ネットワークガイド	_	0
RP-GL/2 編	—	0
RTIFF 編	_	0
PostScript 3 編	-	0
クイックガイド(※本書)	0	_



コピー機能に関する詳細については、『コピー機能/ドキュメントボックス機能編』 を参照してください。

出力紙の排紙先を指定する

コピー用紙の排紙先を指定します。

「上排紙」、「下排紙」それぞれでスタックできるコピー枚数は以下のとおりです。

	普通紙	トレーシングペーパー
上排紙(A1 p以下)	50枚	10 枚
下排紙 (A1 Dまたは A0 D)	40枚	1枚

1 重要

- スタック可能枚数を超える場合は、スタッカーに残っている用紙を取り除いてください。紙
- づまりの原因となります。
 フィルムにコピーするときは、一枚ごとに排出されたフィルムの先端を持ってスタッカーから取り出し、平らなところに置いてください。

上排紙

出力紙を、上排紙スタッカーと上排紙ガイドの間に排出します。 出力紙がA1 Pより小さい場合は、上排紙をおすすめします。





出力紙は、上排紙スタッカーと上排紙 ガイドの間に排出されます。





下排紙

出力紙を、下排紙スタッカーに排出します。 出力紙がA1D、またはA0Dの場合は下排紙に設定してください。



● 補足

- 長尺原稿のロール部を下排紙補助ガイドにのせてコピーするとき、出力紙の排出先に「下 排紙」を指定すると、下排紙補助ガイドにのせた原稿と下に排紙される出力紙がぶつかり、 原稿を痛めたり、用紙がつまったりする場合があります。その場合には、シンクロカット を選択してください。
- 出力紙は下排紙口から下排紙トレイに入り、前面下部の下排紙スタッカーに送られます。下 排紙スタッカーから用紙を取り出してください。





AT75085

- A0 DまたはA1 Dを下排紙するときは、下排紙ガイドを装着してください。
 A0 DとA1 Dの用紙を混在して排出することはできません。用紙サイズを変更する場合は、 あらかじめ下排紙スタッカーから排出されたコピーを取り除いてください。
- 厚手の用紙は、最後に排出された用紙の後端が排紙口に残ることがあります。その場合は、 排出口から用紙を取り除いてください。下排紙スタッカーの手前にある下排紙補助ガイドは、閉じた状態で使用してください。引
- き出した状態で使用すると用紙がきちんとスタックされません。排紙後に用紙を取り出し にくいときは、手前に引き出してください。





原稿のセット

🚼 重要

- 原稿は1枚ずつ挿入してください。
- 原稿を挿入したら、無理に押し込んだり引っ張ったりしないでください。原稿破損の原因になります。
- 原稿の後端のカールが強いときは、両手でカールを伸ばしながら引き込まれるようにしてください。丸まったまま挿入すると、原稿の破損の原因になります。
- 原稿を挿入するときは、ローラーに軽く突き当ててください。いったん突き当てたら、それ以上原稿を押し込まないでください。紙づまりの原因になります。
- 原稿を挿入するときは、原稿の後端が手差しテーブルの入り口に入らないように注意して ください。紙づまりの原因になります。





😪 重要

原稿ガイドを原稿に強く押し当てないようにしてください。また、原稿ガイドを原稿の幅より狭くしないでください。





原稿のコピーする面を下向きにし、原 稿ガイドにそって静かに挿入口へセッ トします。

🗘 重要

原稿に両手を添え、軽く突き当たるまで挿入してください。原稿が少し引き込まれたら手を離してください。



↓ 補足

- 原稿を挿入した後は、強く触らないでください。搬送の妨げにならない程度に、必要に応 じて補助してください。
- ロール状の原稿をセットするときは、下排紙補助ガイドを利用してください。
- 原稿のななめ送りが繰り返されるときや、原稿種類によっては、原稿送り開始時間を変更 することで適切な操作ができるようになります。

▶ 参照

- 原稿送り開始時間の設定方法については、『初期設定編』「システム初期設定」-「基本設定」
- を参照してください。 ・ セットできる原稿については、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「原稿につい て」を参照してください。





等倍サイズでコピーする





• 前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。



機能の設定をします。

必要に応じて以下の設定をします。

- ·原稿の排出先 : 原稿上排紙、原稿後方排紙
- ・出力紙の排出先:上排紙、下排紙
- ・原稿セット方向:
- ・用紙選択
 :自動用紙選択、用紙選択(ロール紙トレイ、カット紙 トレイ、手差しテーブル)

◆ 補足

- 用紙選択でロール紙を選択した場合は、カット方法も指定します。
- カギマーク(1)の付いているトレイは、自動用紙選択の対象にはなりません。

4	「等倍」が選択されていることを確認します。
5	テンキーでコピーする枚数を入力します。



原稿ガイドを調節し、原稿を下向きにセットします。

原稿が搬送され、コピーが始まります。

● 補足

 システム初期設定の「原稿送り開始方法」で、[スタート] キーを押してから原稿の搬送が 開始されるように設定することができます。

₿ 参照

- 原稿の排出先の設定方法については、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「原稿の排出先」を参照してください。
- 出力紙の排出先の設定方法については、本ガイドのP.8「出力紙の排紙先を指定する」を参照してください。
- 原稿のセット方向については、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「原稿のセット方向」を参照してください。





拡大・縮小コピーする

倍率指定変倍

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

- 拡大率:141.4%、200.0%、282.8%、400.0%
- 縮小率: 25.0%、35.4%、50.0%、70.7%





2 倍率を選択します。

◆ 補足

- 倍率を選択したあと、[-] [+] を押して、倍率を0.1%単位で調整することもできます。
- テンキーを使って倍率を直接入力することもできます。その場合は、[テンキー]を押して倍率を入力したあと、[#]を押し、[OK]を押します。



3 [OK] を押します。

設定した倍率が表示されます。

■参照

- 固定倍率と、原稿サイズと用紙サイズの関係については、『コピー機能/ドキュメントボックス機能編』「倍率表」を参照してください。
- 最大3つまで任意の倍率を登録しておくこともできます。任意倍率の設定方法については、 『初期設定編』「コピー / ドキュメントボックス初期設定」-「変倍率設定」を参照してくだ さい。

用紙指定変倍

指定した用紙サイズに合わせ、自動的に拡大または縮小してコピーします。 用紙指定変倍できる用紙のサイズ、方向は次のとおりです。 A0 D、A1 D D、A2 D D、A3 D D、A4 D、B1 D、B2 D D、B3 D D、B4 D

🔂 重要

- 用紙指定変倍を使用するときは、原稿セット方向をあらかじめ指定してください。原稿セット方向を正しく指定しないと、思い通りの結果が得られない場合があります。
- 手差しコピーはできません。





↓ 補足

倍率は400.0%、282.8%、200.0%、141.4%、100.0%、70.7%、50.0%、35.4%、25.0%の中から選択されます。

▶ 参照

原稿のセット方向については、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「原稿のセット方向」を参照してください。



不定形サイズコピー

不定形サイズの原稿をセットするとき

不定形サイズの原稿をセットするときは、以下の手順で原稿のサイズを設定します。



3 [OK] を押します。 ● ^{補足}

- 不定形サイズの原稿をセットするときにサイズ設定をしないと、画像が欠けてコピーされます。
- [不定形原稿]を選択する代わりに[最大幅読み取り]を選択すると、不定形原稿のサイズを設定しなくても、画像が欠けることなくコピーできます。「最大幅読み取り」では、実際の原稿の幅にかかわらず、一定の読み取り幅で原稿を読み取ります。「最大幅読み取り」の詳細については、『コピー機能/ドキュメントボックス機能編』「最大幅読み取り」を参照してください。

不定形サイズの用紙にコピーするとき



自動的に用紙が送られ、コピーが始まります。

トラブルシューティング

用紙を補給する

用紙がなくなったときは、『こんなときには』「用紙がなくなったとき」を参照して 補給してください。

用紙を交換する

セットする用紙のサイズを変更したいときは、『こんなときには』「用紙サイズを変 更するとき」を参照してください。

トナーを交換する

トナーがなくなったときは、『こんなときには』「トナーがなくなったとき」を参照 して補給してください。

トラブルが発生したら

トラブルが発生したときは、『こんなときには』「困ったときには」を参照して対処 してください。

また、コピー機能、プリンター機能、スキャナー機能それぞれに特有のトラブルに ついては、『こんなときには』「コピー機能がうまく使えないとき」、「プリンター機 能がうまく使えないとき」、「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してく ださい。



京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡 ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 http://www.kyoceramita.co.jp



TASKalfa 4811w / 4812w / 4813w





初版 2008.11 Printed in Japan 305JH77860



©2008 京セラミタ株式会社
 〇 KUDCER3 は京セラ株式会社の登録商標です。